



と き と り 桃 花 鳥

【教育目標】
磨き合おう
助け合おう
勇気をもとう

回 覧

ホームページ <http://niibo-es.sado.ed.jp>
E-mail niibo-es@sado.ed.jp

第461号
令和5年10月2日

いじめられる側にも原因がある？

校長 佐藤 伸也

保護者の方や地域みなさんにお聞きします。

① いじめには、良いいじめと悪いいじめがある。

そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
----- ----- ----- -----			

② いじめられる側にも原因がある。

そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
----- ----- ----- -----			



大人である保護者の方や地域みなさんは、どの答えを選択されましたか？

①の質問は6月の全校朝会で、②の質問は9月の全校朝会で子どもたちに聞きました。「そう思う」か「そう思わない」の2択としました。少し時間を取り、近くの人と相談してもいいですよ、と伝えました。さっそく「どっち?」「そうだね」「〇〇が正解だね」と話す子もいれば、すでに決まった答えをもっているのか、黙ってまっすぐ私を見ている子もいました。さて、結果はどうだったのでしょうか。どちらの質問とも、学年が下がるほど「そう思う」に手を挙げた子が多かったのです。そう、この質問は「そう思わない」が正解になります。学校ではそのように子どもたちに教え、指導をしています。学年が上がるにつれて、理解が深まり、人権意識も高まっていく過程で「そう思わない」と考える子が増えていくのです。さすがは新穂小の6年生です。2つの質問とも全員が「思わない」に手を挙げていました。

話は変わりますが、今社会問題となっている「あおり運転」があります。2017年の東名高速夫婦死亡事故以来、あおり運転による事故や事件は絶えません。動画サイトにもたくさんの映像がアップされています。中には「あおられるのは、この運転手が何かやったからなのでは?」「道を譲らずゆっくり走っているからあおられるのだ」等の気になるコメントや書き込みが見られます。私は、この思考はたいへん危険であると考えています。なぜなら、いじめをする思考と似ているからです。「いじめられるのは何か理由があるからだ」「原因があるからいじめられるのだ」といった思考です。理由や原因があれば「いじめ」をしていいわけありません。「いじめ」は相手の人権を踏みにじる行為です。犯罪です。どんな理由があろうとも、どんな原因があろうとも、「いじめ」は絶対に許されないのです。このことを、学校では発達段階に応じて、道徳の授業や学級活動等で学習しています。ですが、「いじめ」は学校だけで発生しているわけではありません。子どもたちだけの問題でもありません。会社や職場で、町内や地域の中で、大人の社会でも発生しています。「いじめ」の問題は、大人である私たちも、自分はどうのような思考なのか、改めて問い直してみる必要があると感じています。